

2022年3月期第1四半期連結決算に関する 補足説明資料

証券コード：6745

2021年8月6日

※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。
収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。



(百万円)	前年同期 20.1Q	当第1四半期 21.1Q	対前年同期比
売上高	14,538	16,052	1,513
営業利益	△ 402	△ 281	120
営業利益率	-2.8%	-1.8%	1.0ポイント
経常利益	△ 404	△ 274	129
経常利益率	-2.8%	-1.7%	1.1ポイント
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 257	△ 179	78
親会社株主に帰属する四半期純利益率	-1.8%	-1.1%	0.7ポイント
為替レート (円/USD)	107.63	109.52	1.89
為替レート (円/GBP)	133.62	153.19	19.57
為替レート (円/GBP) ケンテック	139.33	146.33	7.00

※ 為替レートの対前期比マイナス表記は円高、プラス表記は円安を示しております。

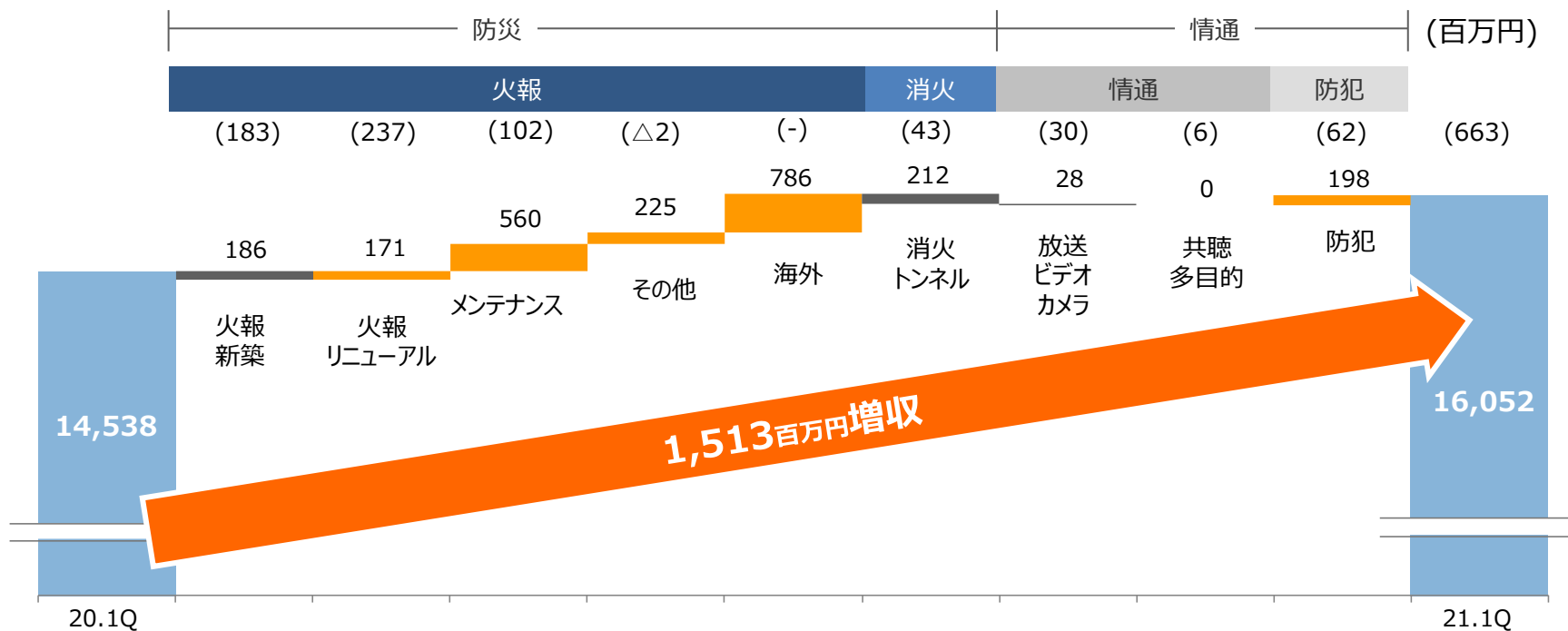
決算のポイント

売上高

- ・ 対前年同期比で増収。
- ・ 国内事業における収益認識会計基準適用による工事進行基準分の増加によるもの。
- ・ 海外事業における「前年同期の新型コロナウイルス感染症による減収・減益」に対する反動増に加えて、システム販売強化施策に進捗の兆しが見えつつある。

営業利益

- ・ 対前年同期比で増益。
- ・ 主に海外事業が好調に推移したことが増益をけん引した。



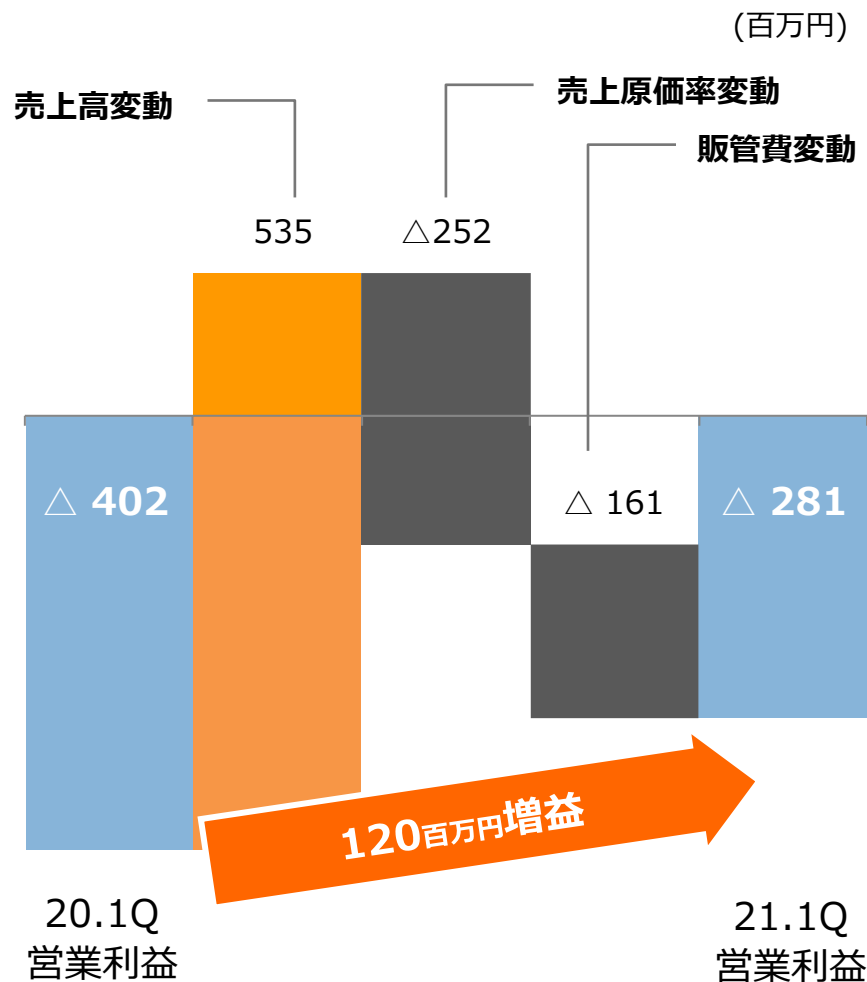
※ カッコ内の数値は収益認識会計基準適用影響による増収概算額を示しております。

ポイント

- 海外は、当社海外事業の主要地域である英国・ベトナムにおける反動増に加え、システム販売強化施策に進捗の兆しが見えつつある。
- メンテナンスは、点検・整備工事共に順調に伸長。
- 収益認識会計基準を適用し、工事進行基準適用範囲が拡大したことによる売上高の増収影響は概算額で663百万円。

(百万円)	当第1四半期 21.1Q		対前年同期比		対一昨年同期比	
	金額	構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	16,052	100.0%	1,513	10.4%	280	1.8%
国内	13,003	81.0%	727	5.9%	△ 58	-0.4%
海外	3,049	19.0%	786	34.8%	338	12.5%
北米/中南米	413	13.6%	△ 16	-3.9%	△ 47	-10.3%
アジア・パシフィック	653	21.4%	162	33.0%	85	15.1%
欧州/中東/インド	1,456	47.8%	614	72.9%	315	27.7%
ケンテック	525	17.2%	27	5.5%	△ 15	-2.8%

為替レート	21.1Q	20.1Q	19.1Q
USD	109.52	107.63	109.90
GBP	153.19	133.62	141.17
GBP (ケンテック)	146.33	139.33	143.73



売上高変動

- 国内は収益認識会計基準適用による増収影響に加え、メンテナンスが点検・整備工事共に順調に伸長。
- 海外は前年の新型コロナウイルス感染症による減収の反動により増収。またシステム販売強化施策に進捗の兆しが見えつつある。

売上原価率変動

- 収益認識会計基準適用に伴い、原価率が悪化。

販管費変動

- 販管費人員の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限が徐々に緩和されたことによる活動費の増加による。

主要セグメント利益増減額

火報	+2.4億円
消火	△1.9億円
情通	+0.5億円
防犯	+0.6億円

※火報のうち、海外分は+2.0億円
 ※全社共通費影響△0.4億円
 ※収益認識会計基準適用影響+1.6億円

2022年3月期 連結業績予想修正概要

※業績予想修正の背景については、2021年7月30日に開示しております、「連結業績予想の修正に関する補足説明資料」をご参照ください。

合計：790



(億円)
合計：765

セグメント構成

■ 海外売上高比率

22/3月期 4/28時点予想値 14.6%

22/3月期 7/30時点予想値 15.0%

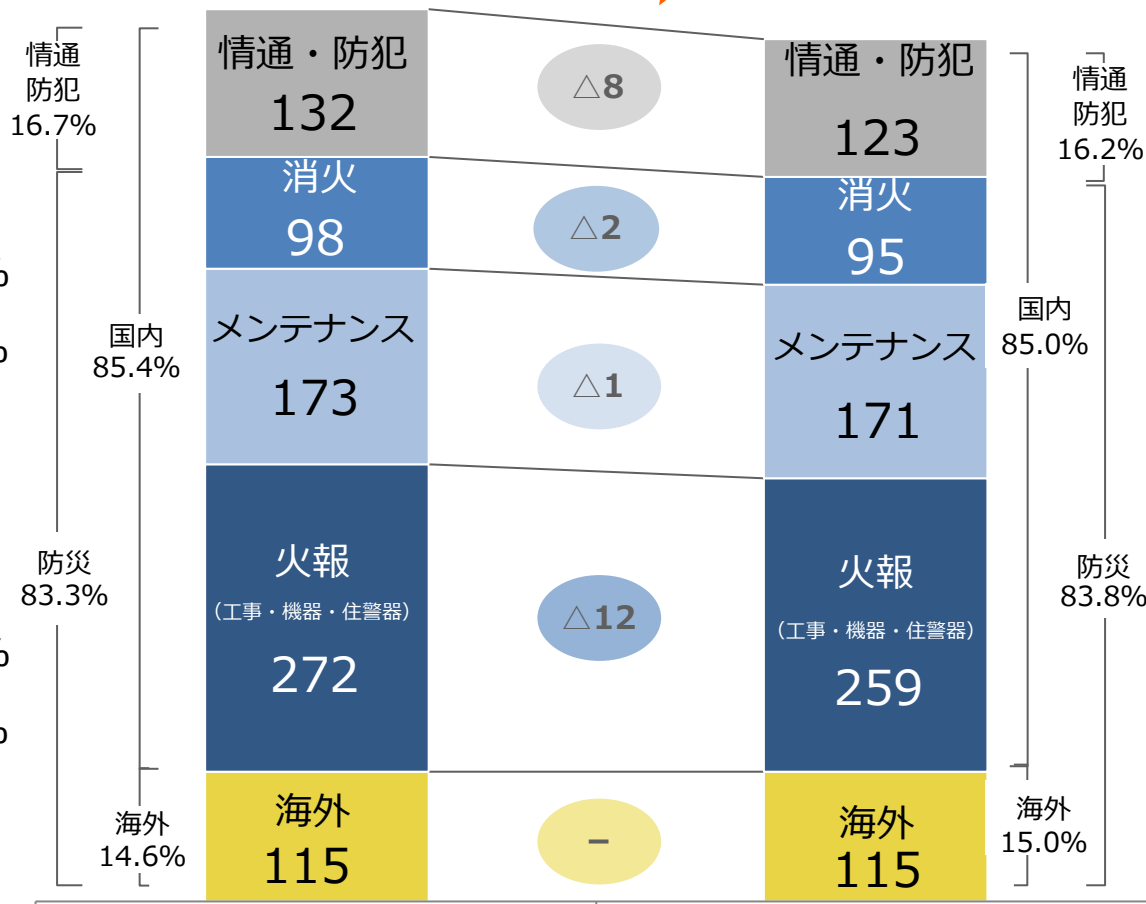
0.4ポイント 増加

■ 防災セグメント比率

22/3月期 4/28時点予想値 83.3%

22/3月期 7/30時点予想値 83.8%

0.5ポイント 増加

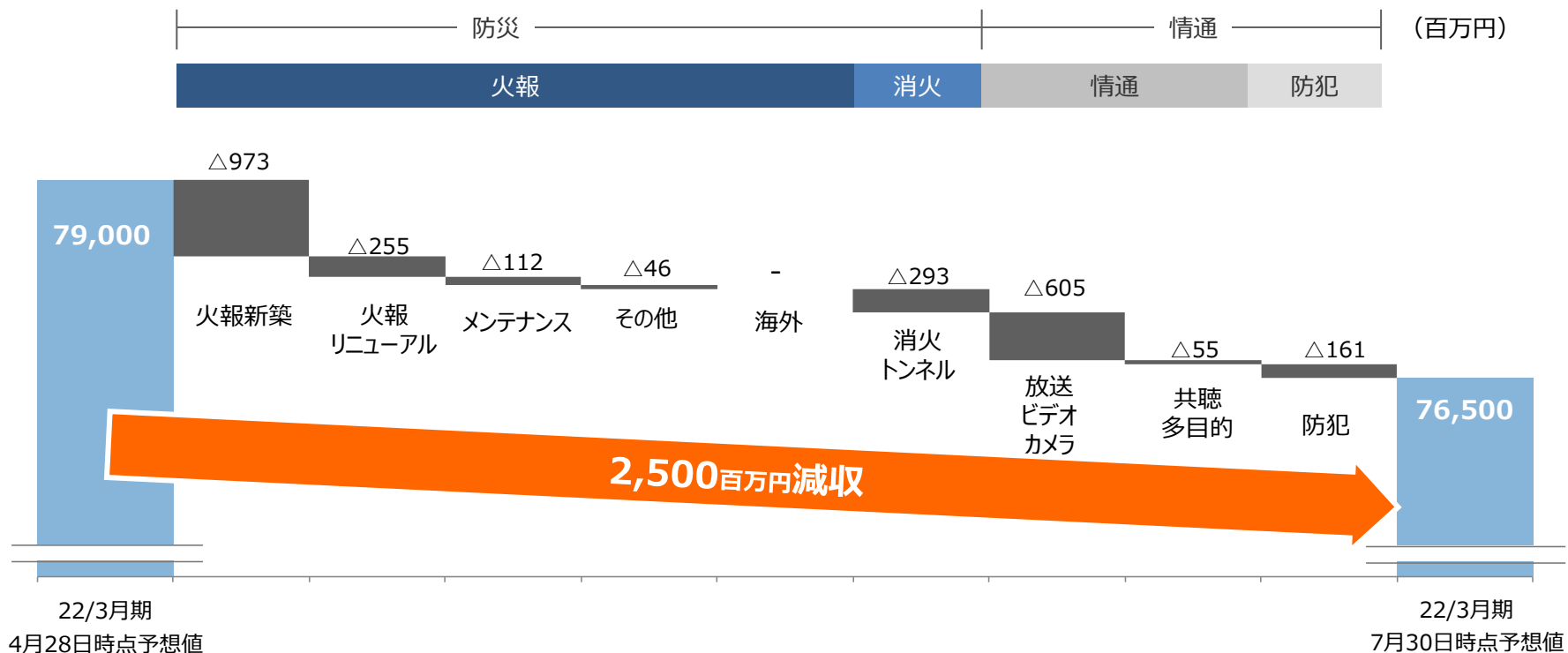


22/3月期

4月28日時点予想値

22/3月期

7月30日時点予想値



ポイント

- 収益認識に関する会計基準の認識誤りを適正に遡及処理した結果、4月28日に公表した通期連結業績予想の売上高から2,500百万円下回る。
- 遡及処理は、売上原価も同額（2,500百万円）下回るため、損益への影響はない。

本資料には将来予測に関する記述が含まれております。

将来予測に関する記述にはその他の情報とあわせて、当社グループの将来の成長計画が含まれております。この将来予測は当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来の出来事に関する現在の当社の見通し、期待、計画が記述されているに過ぎません。我々はこの将来予測について、新たな結果に関する情報や将来の出来事によっても、最新情報への更新や修正の義務を負うものではありません。

また、本資料中で論じられる予測の対象となる将来の出来事は、現実には起こらないか或いは予期されたことと大きく異なる可能性があり、これらの違いには多くの要素が原因となりえます。

本資料において使用されている商標は、関係各社の保有する登録商標又は出願商標です。

お問い合わせ先

ホーチキ株式会社 経営企画室
石井

TEL 03 (3444) 4115

E-mail team_ir@hochiki.co.jp